

福井市学校版環境ISO 実施計画書

福井市長 様

私たちの学校は、恵み豊かな環境を守り未来に引き継いでいくために、環境保全に関する学習、教育及び活動を積極的に行って環境にやさしい学校づくりと生命や自然の大切さを理解し郷土を愛するモラルの高い児童生徒の育成に取り組むための実施計画を作成しましたので、福井市学校版環境ISO認定制度による認定の更新を申し込みます。

令和 5年 5月 25日

学校名 福井市東郷小学校

校長氏名 出口 津代子

1 今年度の目標(学校の約束)

- ①東郷地区の環境（槇山の自然）について学習します。
- ②学校の畑で各学年が野菜・花等を育て、環境教育に努めます。
- ③PTAと連携しリサイクル活動（アルミ缶・インクカートリッジ）に取り組みます。

2 取組内容

① 環境学習

学校の近くにある槇山に登り、槇山の自然（植物・動物等）に触れたり、地域のボランティアの方から資料をいただいて、学習会を実施したりします。

② 畑作り

本校にある畑（8m×8mが5区画）を各学年で割り振り、授業で扱う野菜や植物を育てます。畑の活動には地域のボランティアの方の協力を得ます。植物の栽培を通して環境学習につなげます。

③ リサイクル活動

PTAと協力してリサイクル活動に取り組みます。
リサイクル回収場所を校地内に設置し回収しやすい環境を整える他、児童会を通して積極的に呼びかけます。

★ ESDポイント(取組内容の内、1項目についてESDの視点をどのように取り入れるかを記載してください。)

- ①の環境学習では、槇山の自然を守り続ける人達の話聞いて、人と人がどのようにつながり、自然とどのように関わっているのかを総合的に考えられるようにする。
(多面的・総合的に考える力)

福井市学校版環境 I S O 実施報告書

<p>学校名</p> <h2 style="text-align: center;">東郷小学校</h2>	
<p>1 今年度の目標 (学校の約束)</p> <p>①東郷地区の環境(槇山の自然)について学習します。</p> <p>②学校の畑で各学年が野菜・花等を育て、環境教育に努めます。</p> <p>③PTAと連携しりサイクル活動(アルミ缶・インクカートリッジ)に取り組みます。</p>	
<p>2 取組内容</p> <p>①環境学習</p> <p>・縦割り班で槇山探検をする</p> <p>1年生と2年生で、学校の近くにある槇山探検を行いました。登山道に生えているあじさい やヘビイチゴなどさまざまな植物を見ながら登り、頂上では、縦割り班で「葉っぱのたからさがし」をして楽しみました。槇山の豊かな自然に親しむことができました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>・「槇山を育てる会」から学ぶ</p> <p>5年生が「槇山を育てる会」の方々をゲストティーチャーとして招き、槇山の歴史や「槇山を育てる会」の活動目的・内容について学びました。また、後日、育てる会の方々のサポートを得て、槇山にあじさいの植樹を行いました。地域の方々の話を直接聞いたり、一緒に活動したりすることで、東郷の自然や歴史について興味・関心が高まり、誇りをもつことができました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	

②畑作り

本校にある畑（8m×8mが5区画）を各学年で割り振り、授業で扱う野菜や花を育てました。また、畑の横にある田治生産組合受託田において、3年生が米作りをしました。畑の活動は、地域のボランティアの方々の協力を得て、サツマイモ、キュウリ、ピーマン、ナス、オクラ、トマトなどを育てました。土おこしや苗の植え方、支柱の立て方などを教わり、収穫の喜びも一緒に味わいました。米作りについては、生産組合の方々に教えていただいて、田植え・稲刈りを中心に行いました。初めて体験する児童も多く「これ、どうやってするんですか？」など、自ら質問しながら活動していました。これらの活動を通して、地域の方と交流したり、植物を育てることのたいへんさや収穫の喜びを学んだりすることができました。



③リサイクル活動

5月と10月にPTAと連携して古紙の回収を行いました。また、アルミ缶回収やインクカートリッジの回収も日常的に行っています。校地内や児童玄関に回収場所を設置し、回収しやすい環境を整えています。



★ ESDポイント（取組内容の内、1項目についてESDの視点を取り入れたポイントを記載して下さい。）

①の環境学習で、槇山を育てる会の方々の話を聞くことで、人と人がどのようにつながり、自然とどのように関わっているのかを総合的に考えることができました。この学習を通して、自分達も東郷地区に住む一人として、槇山を守り続ける責任を感じることができました。（相互性・責任性）

3
見
直
し

【具体的効果】

- ・生活科や総合的な学習で地域の自然環境を学習したことで、自分の住んでいる地域に関心を持ち、自然や地域を大切にしようとする心が育ってきています。
- ・地域のボランティアの方々の力を借りながら、野菜や植物を育てることを通して、自然や生産活動への関心が高まりました。
- ・リサイクル活動に取り組むことで、環境に配慮する意識が高まり、資源や身の回りの物を大切にしようという気持ちが高まってきました。

【改善点】

- ・古紙やアルミ缶・インクカートリッジの回収に対する意識付けはできていますが、回収された物がどのようなルートで再生・活用されていくのかということについて学習する機会を設けていきたいです。